

日経平均株価

3万1259円36銭

▼171円26銭(前日比)

TOPIX

2255.65

▼8.51(前日比)

2023  
10/23  
月曜日

発行元 株式会社 株式市場新聞社  
〒541-0058  
大阪市中央区南久宝寺町3丁目2-7  
TEL 06-6105-1904



## どうなる主力企業2Q決算

### ニデックや信越化上振れあるか？



#### 3月期企業の2Q発表始まる

予想が上ブ  
000億円  
累計での1  
第2四半期  
地増益で着  
な増益で着  
万円の大幅  
億2000  
増の600  
34.7%  
前年同期比  
営業利益で  
月)で連結  
期(4~6  
は第1四半  
期(4~6  
改善が  
進む期  
待がある  
り、通  
期の予想  
の70億  
円(前  
期比92  
%)減  
予想は  
最低ラ

23日にニデック  
を皮切りに26日に  
武田薬品工業(45  
02)、富士通(6  
702)、信越ポリ  
マー(7970)、  
カプコン(9697)、  
日東電工(6988)、  
27日に信越化学工  
業(4063)、東  
映アニメーション  
(4816)、日立製  
作所(6501)、  
オムロン(6645)、  
31日に東京エレク  
ترونデバイス(2  
760)が控える。  
ニデックに関して  
は第1四半  
期(4~6  
月)で連結  
営業利益で  
前年同期比  
34.7%  
増の600  
億2000  
万円の大幅  
な増益で着  
地している。  
第2四半期  
累計での1  
000億円  
予想が上ブ

### ハイテク成長の流れ確認

10月23日のニデック(6594)を皮切りに3月期企  
業の第2四半期(4~9月)決算発表がスタートする。とくに  
半導体を筆頭にハイテクは春先以降、AIとEV(電気自動  
車)に絡む需要増と政府主導による国内での製造拠点新設を  
背景に中長期的な業績拡大期待が高まっており、今回の決算  
発表ではその流れを確認することになりそうだ。一方、中国  
の景気悪化とウクライナや中東を含めた地政学リスクの高  
まりが企業の戦略にどう反映されるかも懸念される。

レ着地す  
れば通期  
予想の上  
方修正期待も高まり  
そうだ。  
信越化学については  
第1四半期の営業  
利益で同23.6%  
減の1908億20  
00万円と減益だっ  
た。第  
2四半  
期以降  
は利益  
改善が  
進む期  
待がある  
り、通  
期の予想  
の70億  
円(前  
期比92  
%)減  
予想は  
最低ラ

#### 日経平均の日足チャート

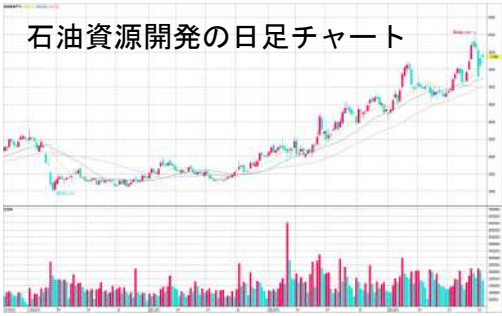


インとの見方が支配  
的。  
カプコンはダウン  
ロードのリピートタ  
イトルが好調で、第  
1四半期営業利益で  
は前年同期比99.  
4%増の240億4  
700万円を計上し  
ている。第2四半期  
も好内容が期待され  
よう。  
11月に入れば1  
日にトヨタ自動車  
(7203)、7日に  
任天堂(7974)、  
9日にソニーグルー  
プ(6758)など  
が控えている。

# 原油関連買い進れる

## ハマスとイスラエル衝突

連休明け10日、石油資源開発(1662)やINPEX(1605)を筆頭に原油関連が買い進まれた。パレスチナ自治区ガザを実効支配するイスラム組織ハマスとイスラエルとの衝突を受けて中東情勢が緊迫した。ハマスとイスラエルの戦争は長期化するとの見方が多く、原油価格の押し上げ要



三陽商会3連騰で新値

1)が3連騰で年初来高値を更新した。24年2月期第2四半期累計の連結決算は計画を上回り、営業損益7億1800

因になると見られる。

万円の黒字(前年同期3億1700万円の赤字)で着地、通期予想を27億円から31億円(前期比38・6%増)に上方修正し、年間配当を59円から88円(同33円増配)に大幅に引き上げたことが引き続き好感された。春夏物プロパー商材が全般に好調、値引き販売抑制による収益性が改善した。

# 半導体関連SOX底入れ

み高で、SOX指数が

11日、レーザーテック(6920)や東京エレクトロン(8035)、アドバンテスト(6857)など半導体関連が軒並み値を飛ばした。ニューヨーク市場ではエヌビディアやインテルなど半導体セクターが軒並み高で、SOX指数が

ケミコン赤字拡大と稀薄化

日本ケミコン(6997)が急落。24年3月期の業績予想について、連結最終損益で95億円の赤字から205億円の赤字(前期22億

## 安川電朝高の後下落

安川電機(6506)が朝高のあと下げに転じ続落。24年2月期の第2四半期累計決算は、連結営業利益で前年同期比5・8%増の330億6200万円と微増益で着地した。生産の正常化によって販売が伸びたが、半導体・電子部品向けが伸び悩んだ。

## 正直いいさんの株で大判小判

前週の東京市場は反落。日経平均は前週の週から1056円下落しています。米長期金利上昇に地政学リスクが加わり、調整色を強めました。週明けから600円を超える下落で買戻しに反発する場面はありま3万1000円台まで下落しています。中東情勢緊迫化に伴う原油価格上昇が米10年債高水準になっています。国内長期金利も10年に上昇しました。均4日安値を下回った。悪材ではないでしマイクrosoftグロース企業の後半からは国内企業の2Q決算発表も本格化してきます。中東情勢には注意が必要です。米長期金利睨みで個別に強い銘柄を狙う考えです。花咲翁

ただ、日経平均は悪化している。悪材ではないでしマイクrosoftグロース企業の後半からは国内企業の2Q決算発表も本格化してきます。中東情勢には注意が必要です。米長期金利睨みで個別に強い銘柄を狙う考えです。花咲翁



## メドレックスS高

7300万円の黒字へ下方修正、独占禁止法関連の特別損失111億5200万円を計上した。同時にジャパン・インダストリアル・ソリューションズが運営するファンドへの第三者割当て増資などを発表しており、1株当たり利益の希薄化懸念が台頭した。メドレックス(4586)がストップ高。

デ・ウエスタン・セラピテクス研究所(4576)と米国で共同開発している帯状疱疹後の神経疼痛治療薬MRX-5LBT(リドカインテープ剤)の再申請を発表した。非臨床の一部のデータをFDAの指示に従って再提出するよう求められたが、DWTIとともに指示内容を精査した結果、追加試験を行うことなく、データの再解析によりFDAの指示に対応できるとし、今後、再解析を進めて2023年内に再申請することを計画している。



ローツェの日足チャート

## ローツェがストップ高

為替差益で経常益予想上回る

12日、ローツェ(632)がストップ高。24年2月期第2四半期累計の連結決算は、営業利益29億5200万円(前年同期比9・0%減)と従来予想の107億円を若干下回ったが、経常利益は138億7800万円(同17・9%減)と従来予想の106億円と大幅に上振れた。円安による為替評価益が要因だが、1Qの状況から収益悪化が予想されていただけに足元の業績は意外に底堅く、株価が当面の底値圏にあったことから押し目買いや買戻しが強まった。

### コスモス薬品が急落

コスモス薬品(349)が急落。24年5月期の第1四半期決算は連結営業利益で前年同期比10%増の89億9000万円と小幅な増益に留まった。生活必需品価格など生活コストが昨年来急激に上昇しており、消

### 三光合成43%営業減益

週末13日、三光合成(788)がストップ安。24年5月期第1四半期の連結決算を売上高211億1100万円(前年同期比15・8%増)、営業利益3億8300万円(同43・4%減)と2

ケタ増収ながら大幅減益で着地したことを失望した売りがかさんだ。国内は増収大幅増益ながら、欧米での受注増加による労務費や諸経費を含む生産準備費用の増加が利益を下押しした。

### 出光全固体電池実用化へ

出光興産(5019)が急伸。トヨタ自動車(7203)とバッテリーEV(BEV)用の有力な次世代電池である全固体電池の量産化に向けて、固体電解質の量産技術開発や生産性向上、サプライチェーン構築に両社で取り組むことを発表した。全固体電池の材料開発などで世界をリードする両社が連携することで、27~28年の全固体電池実用化を目指す。

費者の節約志向はより一層高まっている。

松井証券

今こそ始めるデイトレード

## 松井証券の一日信用取引

手数料0円 金利・貸株料0~1.8%

取引  
コスト

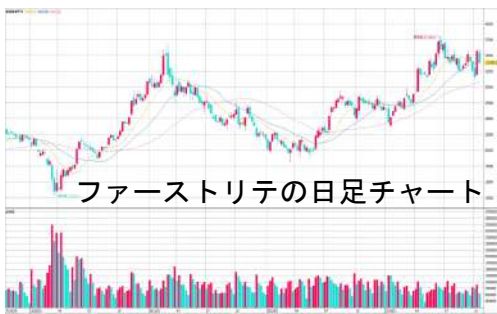
プレミアム  
空売り

独自  
サービス

最短3分でお申込み完了!

【無料】新規口座開設はこちら

marketpress.jpのバナーをクリック



# ファーストリテ大幅続伸

## 最高益更新見込み連続増配

13日、ファーストリテイリング（983）が大幅続伸。日経平均を約190円押し上げた。23年8月期の連結決算は営業利益3810億9000万円（前期比28・2%増）で着地、24年8月期も4050億円（前期比18・1%増）と2ケタ増益で連続最高益更新を見込み、前期の年間配当を10円引上げ290円（前の期206円67銭）、今期

も330円への増配を計画した。海外事業が大幅増収増益になり全社収益を牽引、国内もユニクロ事業やジーユー事業が堅調に推移する見込み。

### 竹内製は上方修正

竹内製作所（6432）が6日続伸。24年2月期の連結

増営業利益を240億円から331億円（同56・0%増）へ上方修正した。

### 公開価格8%下回る

#### 成友興業の初値

成友興業（9170）が名証ネクスト市場に新規上場、公開価格2300円を8%下回る2116円で初値が生まれた。汚染土壌処理、建設系産業廃棄物の収集運搬と中間処理、建設業を手掛ける。

## 石油関連株逆行高

7・6の19ドルと急反

週明け16日、INPEX（1605）やENEOSホールディングス（5020）など石油関連株が逆行高。NY原油先物市場で期近WTI11月限が終値で前営業日比4・78ドル高の19ドルと急反

## 10月第3週の動意銘柄

発した。中東情勢の緊張の高まりを背景に、原油先物は再び騰勢を強めており、9月下旬に付けた高値95ドルをうかがう動きになった。

### 日創。プロ計画未達

日創プロニティ（3440）が急落。23年8月期決算を発表、連結営業利益で従来予想の5億8000万円に対して3億1200万円と

## 転ばぬ先のテクニカル

### 中期下向きトレンド

先週の東京株式市場は反落しました。イスラエルとハマスの地政学的リスクの高まりに加え、米長期金利の上昇を受けて株は売られました。米債利回りは2021年末から2年債が10年債を上回る逆イールドとなってきましたが、ようやく肩を並べる位置にきました。このことから、米国の政策金利はほぼ天井に届いたということでしょう。

さて、現在、日経平均の移動平均線は5週線が3万1750円、13週線が3万2160円、26週線が3万1840円近辺と3万2000円前後に収めています。5週線が一番低い位置にあり、中期トレンドは下向きとなっています。週足ローソク足の10月安値は3万526円です。これに対する二番底形成を行っているものと思われませんが、もし割り込んだ場合は2万9000円近辺へ急落する可能性があります。注意が必要です。

日々勇太郎



計画未達で着地した。収益性に乏しい案件が重なったという。

### 良品計画45%営業増益

良品計画（7453）が大幅続伸。24年8月期の業績を修正、連結営業利益で前期比44・9%増の480億円を見込んだ。個店経営・コオウンド経営の実践、感じよいオンラインの提供、ESG経営のトップランナ

### 公開価格7.9%下回る

#### ケイファーマの初値

ケイファーマ（4896）が17日、ケイファーマ（4896）が東証グロース市場に新規上場、公開価格950円を7・9%下回る875円で初値が生まれた。同社は医薬品の研究・開発・製造・販売、再生医療等製品の研究・開発・製造・販売を行う。

### テラスカイ4割減益

テラスカイ（3915）が大幅続伸、年初来安値を更新した。24年2月期第2四半期累計の連結決算は、営業利益2億1900万円（前年同期比40・2%減）と大幅減益で着地した。クラウド導入コンサルなど主力事業は好調ながら、人材採用やエンジニア教育など先行投資負担が収益を圧迫、通期計画の11億1000万円（前期比2・2倍）の未達成が警戒された。



# 高付加価値営業を強化

ことに加え、生産性向上を目的にデジタル技術を活用

# 英和 今期利益は計画超で推移 提案型セールスエンジニアへ変貌

英和 (9857)

英和(9857)は工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械の分野で、あらゆる産業のハイテク化に貢献する技術総合商社で、単に「物を売る商社」ではなく、「提案型セールスエンジニア企業」へと変貌している。

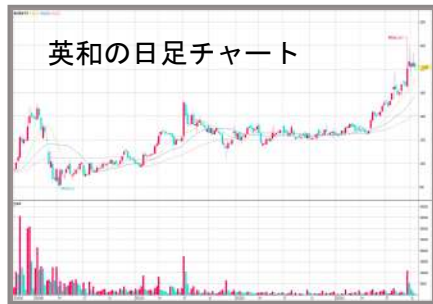
生産性向上や業務効率化を目的としたデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進や2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向けた新技術開発のための研究開発投資増は追い風で、EV・CASEに関連する高精度精密測定機器、性能試験機、評価装置などの提案を推進しており、JARI(一般財産法人日本自動車研究所)標準セルを応用した電解セルや試験装置への引き合いも増加している。

## 特選銘柄

商品の長納期化が改善傾向にある

した生産設備の自動化や高度化につながる投資があった他、老朽化した設備の更新需要が堅調で、主力の工業用計測制御機器の販売は堅調に推移。また、顧客の課題を解決する「コト売り」など高付加価値営業の強化に取り組んだ。

これにより24年3月期は連結売上高では420億円(前期比1.7%増)を据え置いているが、営業利益では19億5000万円から22億5000万円(同21.4%増)へ、純利益で13億2500万円から15億3000万円(同15.9%増)へ上方修正している。



英和の日足チャート

# ANAPがストップ高

## 事業再生に向け資金提供

19日、ANAP(3189)がストップ高。同社は18

主要株主であり本

業再生ADR手続のスポンサー企業であるネットプライス社から新たな資金の提供を受けることとなる。



ANAPの日足チャート

19日、ANAP(3189)がストップ高。同社は18日の取引終了後、事業再生ADR手続期間中における資金繰りを確保し、事業再生を支援することを目的として、資本業務提携先であるネットプライス社との間でDIPファイナンスに関する契約を締結したと発表した。事業再生ADR手続期間資金繰りと事業継続に必要なことから、

## 第一三共メルクと契約

週末20日、第一三共(4568)が急反発。この日取引開始前、独自のDX領域の3製品を用いたがん領域の3製品について、メルクと全世界での開発と商業化契約を結んだと発表した。契約時一時金、後払

した。同社は19日の取引終了後、23年10月期の業績予想の修正を発表、連結売上高で9億3000万円から8億2700万円(前期比24.4%増)へ、営業利益で7000万円から3500万円(前期比2000万円)の赤字へ下方修正した。売上計上を見込んでいた一部の大手学習塾の売上が翌期に期ズレするため

## 西松屋エフシモ大株主に

西松屋チエーン(7545)が5連騰。19日に提出された大量保有報告書で旧村上ファンドの

い一時金と販売マイルストーンを合わせて最大220億ドルを受け取る。3製品計の売上規模は30年代半ばに向けて数十億ドルに達する可能性があるとして

## POPERは下方修正

POPER(5134)が大幅に続落

一段の買い増しや株主提案などへの思惑から買いを集めた。

# 高野恭壽の 株式情報 これでどや!!



株式市場新聞の名物コーナーが復活!

善需いまと、はみ、が給ます、ハ進改す。

2す。にに経柄り算決  
003)は強日産自(7  
なりそ、に転平均の、発算  
うで、じるも色、好決  
そ、こと、反で、決  
う、と、発日、算  
で、そ、日、算  
強、う、日、算  
は、そ、日、算  
強、う、日、算

高野恭壽(たかのやすひさ)氏 株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに出演。「株式投資30カ条」など著書も。公式ホームページ <https://marketpress.jp/kabu-takano/>

先週の日経平均は19日に600円を超える大幅な下落となり、20日には3万1093円まで売られる場面がありました。値がさハイテク株が大きく下落したことが原因でした。スクリーン、東京エレ、安川電、富士電機、レーザーテック、アドバンテス、TDKなどが軒並み下落。また、第一三共、エーザイなども反落したほか、SUBARU、日産、マツダ、重工などの自動車、重機の下落も響きました。米国債金利が再び上昇し、先行き悲観論が強まり、こうした銘柄が値を消しました。

ただ、日経平均の30日間の安値は10月4日の2万5000円にまで落ちました。この間、日産自動車は強気対処の発案が開始され、日産の株価は3月20日に1000円を回復しました。日産の強気対処は、米国の金利が低下していること、日産の業績が回復していること、日産の株価が低すぎることなどが理由です。日産の強気対処は、米国の金利が低下していること、日産の業績が回復していること、日産の株価が低すぎることなどが理由です。

## 日産自は強気対処

金利上昇一巡出直りへ

外は下落  
が限定的  
で下値を

## 購読会員募集中!

<https://marketpress.jp/subscribe/>

株式市場新聞では、購読会員を募集しています。

短期値幅取り候補銘柄!!



【正直じいさんの株で大判小判】でお馴染み!!  
花咲 翁氏が独自の分析で値幅取り候補銘柄を紹介。

株式市場新聞  
[www.marketpress.jp](http://www.marketpress.jp)

# チャートから読む 騰落銘柄

## 任天堂 (7974)



25日線と50日線を抜けて10月12日に6384円まで上昇したが7月や9月高値の6400円台を抜け切れず失速。20日には一時、4日安値6053円割れまで下落し、この水準で踏ん張れるか注視。

## トランザクション(7818)



25日線割れから切り返し、日足がゴールデンクロス。24年8月期も2ケタ超の増益で9期連続最高益更新見込み、中期計画目標と配当計画をを引き上げ。大勢上昇トレンド確認し青空相場を一段高へ。

## 富士通ゼネラル(6755)



24年3月期の業績予想の下方修正を受けて一時2600円割れまで急落。この水準を維持できなければ22年5月10日の安値2129円が意識される。北米などでの在庫削減進展が鍵を握ることになる。

## エスプール(2471)



3Q決算を嫌気、急落の後も下値模索が続く。直近3カ月急失速で、23年11月期通期計画未達懸念強い。底割れ状態で大勢下降トレンドのなか一段安へ。押し目買いに積み上がった信用買い残が重荷。

※チャートは日足



# 星野三太郎の株街往来

## ～無料化でも損はする～

SBI



証券は9月30日から、楽天証券は10月1日から国内株式の取引手数料無料化をスタートしてほぼ半月が経過した。

筆者の知人でも別のオンライン証券からの2社へ口座を移管したという友人もいた。で、無料化への影響は上々だとは思っている。ただ、特に短期売買になると

そのときの株式市場の地合いにも左右される。必然的に10月4日までの急落時点で主力株を買えた方は利益を得て、日経平均の動きにあまり関係ない新興銘柄を買った方はは値動きの悪さから損切りを繰り返した方も少なくなかった。手数料無料化は株式投資を行う動機にはなるが、無料化になつたからと言って利益が突然増える訳ではない。無料化で今月に入って売買頻度は増えたが、改めて思うことは自分自身の銘柄選別を含めて投資能力を磨くことが重要だと感じた。一泊二日で数千円の利益を得ても、その銘柄をもし数カ月保有したら、利益はその数十倍になるかも知れない。もちろんその逆もあるのだが、投資を極めるには日々勉強あるのみだ。



強あるのみだ。



## New product

### パナ補聴器 耳かけ型補聴器3機種 Bluetooth新規格に対応



パナソニックホールディングス(6752)傘下のパナソニック補聴器は「聞こえの進化で人とつながる」をコンセプトとする耳

耳かけ型補聴器「R5シリーズ」3機種10月26日に発売する。

今後、劇場や電車など公共施設での活用が期待されるBluetoothの新規格「LE Audio」に対応。テレビやスマホ、タブレットなどの「LE Audio」対応機器との接続により音声が届くので、周囲の雑音の影響を受けずに聞きたい音をよりクリアに聞くことができる。また将来的には、駅のアナウンスや映画館の上映音声なども無線で受信し、自宅だけでなく街でも音源とつながる予定。

## 24年2月に販売開始

積水ハウス

### めきた2期初の分譲マンション



グラングリーン大阪 THE NORTH RESIDENCE

積水ハウス(1928)が「グラングリーン大阪 THE NORTH RESIDENCE」の販売幹事社に選定され、2024年2月に販売を開始する。三菱地所(8802)を代表企業とするグラングリーン

企業レター

大阪開発事業者JV9社が進めているうめきた2期地区開発事業の「グラングリーン大阪」では初めてとなる分譲マンション。自慢の愛車を専用のエレベーターで邸宅まで運び込むことができるカーギャラリー付き住戸を提供する。これに加えて防災・レジリエンスに配慮し、最先端技術を備えた安全・安心の暮らしを追求。全邸宅に家庭用燃料電池「エネファームtype S」を設置し、非常用発電機と組み合わせることで停電時に棟内で電力を融通し合う自立型エネルギーシステムを導入している。

## 潮流

## 米金利に惑わされるな!

## ハイテク急落局面は買い好機

marKet/bAnk



10月の株式市場は米国金利の上下に振り回されている。米債券市場で長期金利が9月4日と6日に付けた4.88%から4.55%まで金利が低下したことで、「マグニフィセント・セブン」と呼ばれる大型ハイテク株中心に米株式市場に買いが入った。

日本も同様にハイテク株、特に日経平均寄与度の高い東京エレクトロンやアドバンテストといった値がさ半導体株が買われ日経平均の上昇幅が拡大した。10月4日の安値3万0487円から12日には3万2494円まで上昇し、2,000円も戻した。しかし、10月7日にイスラム組織ハマスが突如、イスラエルへの大規模な攻撃を開始。これに対し、イスラエル側も激しい空襲で応酬し、戦争状態となった。中東の地政学的リスクが一気に高まり、18日には米長期金利が一時、4.92%と2007年7月以来の高水準を付けた。

金利の天井感が薄れたことで「マグニフィセント・セブン」が急落した。日本も同様に19日の長期金利が上昇し、新発10年物国債の流通利回りが一時、0.835%まで上昇した。2013年7月以来、10年3カ月ぶりの高水準をつけた。金利の上昇で値がさ半導体株が売られ、日経平均が大幅下落となった。



このように米金利動向が株式市場に与える影響が大きくなっている。債

券市場も株式市場も外国人投資家（CTAやヘッジファンド）が大口売買を繰り返し、乱高下させている。金利の低下で日経平均が大幅上昇した10月第2週（10日～13日）の先物の投資部門別株式売買動向

（日経平均先物、TOPIX先物、ミニ日経平均先物、ミニTOPIX先物の合計）を見ると、外国人投資家は3279億円買い越し、現物株（東証・名証の合計）との合算で7836億円も買い越している。

日経平均が大幅安となった時は、外国人投資家は先物を大幅に売り越している。投機筋の売買は、ファンダメンタルズではなく、価格の方向性を重要視するため、1日の時間帯の中でも乱高下を繰り返すことが多い。投機のリターンはキャピタルゲインなのでこの様な動きとなる。過剰流動性相場下では、異常な下げや上昇が度々発生する。既に日本の株式市場は割安水準で、円安メリットを享受する製造業などハイテク株の急落局面は買いの好機だ。潮流銘柄はTOPPANホールディングス（7911）、東京エレクトロンデバイス（2760）、アドテックプラズマテクノロジー（6668）。

にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システムが紹介された。直近では2022年1月の夕刊フジ主催の「株1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。<http://marketbank.jp>



岡山 憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のプロフィール  
1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第1回S1グランプリ」にて1万人超の参加者の中から優勝。2002年

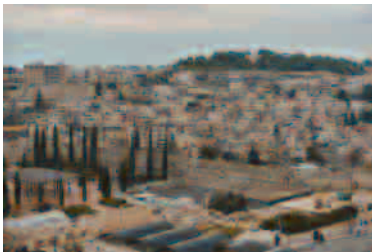
日本の株式市場は割安水準



## 敏腕先物ディーラー ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール  
証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



イスラエルの動向が気になる  
(イスラエルの旧市街)

先週の日経平均は前週末比約1056円安と大幅下落、週足陰線となった。要因は中東の地政学リスクの高まりに伴い原油価格が上昇したことや米国長期金利の上昇で、世界的に株価下落の週となった。ひと昔前なら「遠くの地政学リスクは買い」であったが、今はAIが市場を仕切っている状態なので昔の「格言」もあまり当てはまらない。特に日本



WTI原油先物の日足チャート

イスラエルの動向が気になる(イスラエルの旧市街)

は米国市場に大きく連動するので、米国市場が軟調な時は逆行して上昇することは珍しい。米国市場はまだ長期金利の動向で株価が大きく左右されるうちは国内市場も不安定な相場が続こう。今週は2番底を確認する週と思われる。14日の安値(3万0487円67銭)からの下値トレンドライン(3万1500円)を金曜日に割り込んでき定されており、下値を試す展開が想定される。しかし、安値を付けた週は米国長期金利が4.9%を付けた週であり、5.0%を超えた先週に日経平均が安値を更新してないことは他国の市場より悪材料に耐性がついているともいえる。また、騰落レシオが81%と「売られ過ぎ」の水準まで低下してきており、ここからの大きな下げはリバウンド狙いの買いが入ってくる可能性は高い。更に空売り比率も週末で45.7%と上昇してきており、キツカケ次第で買戻しの買いも十分期待できる状況である。チャート上では7日に付けた窓(3万1160円45銭)も埋めており、反転する素地はできている。下がったところはリバウンド狙いで参戦したい。今週は3万0800円から3万1800円を想定する。11月6日から先物取引・商品取引の証券金の計算方法が変更になる。現在はSPAN方式だが11月6日からVAR方式になる。欧州では主流の計算方法であるが、リスク管理をSP

AN方式より強化した計算方法である。先物では売り買いとで証拠金が違ったり、限月違いで必要証拠金も違ってくるようだ。単純な先物の売り買いはSPAN方式より証拠金は上がるが、NTショートやロングなど売りと買いの組み合わせでリスクが軽減されるようなポジションだとSPAN方式より証拠金は下がるようだ。また、毎日引け後に必要証拠金が公表されるため、場中には正確な証拠金を試算することはできないようだ。11月6日はSQ週でもある。ポジション管理には十分注意したい。詳しくは日本証券クリアリング機構のHPを参照してもらいたい。(ハチロク)



日経225先物の日足チャート

# 下値を確認する週

## 騰落レシオは「売られ過ぎ」

# 記者の視点 相場見通し

## 米主要企業決算注視

### 米下院議長選はリスク要因

10月第3週の東京市場は調整色の強い展開となり、13日に3万2533円08銭まで戻っていた日経平均は20日の前場に3万1093円90銭まで売られる場面があった。イスラエルとハマスとの紛争に絡む中東情勢についてはバイデン大統領のイスラエルなどへの訪問を受けて沈静化への期待があったものの、イランがイスラム諸国の産油国に対して原油の輸出禁止を提案するなど事態が混乱を深めている。これをを受けて原油高が進んでいるが、それに加えてパウエルFRB議長が19日の講演で、米国の経済次第で「よりなる金融引き締めが正当化される可能性」を示したことを受けて米長期金利が更に上昇し、これが米

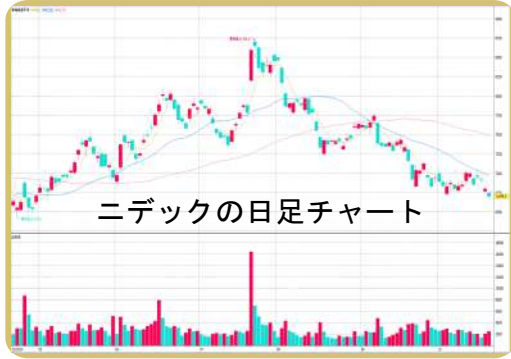
国株市場の下落から日経平均の売りへと波及している。今週は米国では24日にマイクロソフトとビザ、アマゾン、ペライゾン、25日にボーイング、メタ、IBM、26日にアマゾン、STマイクロ、インテルと主要企業が続々と決算発表を迎えることから、これら企業的好決算内容ならニューヨーク市場も戻りを試す可能性もあるかも知れない。一方、国内でも3月期企業の第2四半期決算がスタートする。まず

は23日のニデック(6594)が注目されることになる。不安材料は多いものの、好決算なら買戻しが活発化する可能性がある。あることから、日経平均では3万1000円割れから10月4日の安値水準である3万0500円を目指す可能性は低いとみる。リスク要因はやはり米国下院議長選出の動向。トランプ派のジョーダン氏への抵抗は大きく共和党は未だにまとまらない。更に選出が長期化するならばリスク要因として再び意識されよう。



編集後記

関西が盛り上がりつつある。日本シリーズ関西決戦へ向け、阪神がクライマックスシリーズを3連勝で進出を決めたが、オリックスもアドバンテージの1勝を合わせてすでに3勝をあげており、順当に勝ち上がるだろう。関西大学の宮本勝浩教授によると関西決戦による経済効果は全国で1449億円、うち関西は1304億円とほぼ関西に限られるが、繁華街や飲食店街が活気づけばいいだろう。東京市場は調整色を強めたが、企業業績の上振れ期待があり、決算発表で個別物色が盛り上げられると思う。



### 今週のスケジュール

- 24日 9月全国百貨店売上高
- 25日 独10月Ifo景況感指数
- 26日 9月企業向けサービス価格指数  
ECB定例理事会(ラガルド総裁会見)  
米7-9月期GDP速報値
- 27日 10月東京都区部消費者物価  
米9月個人所得・個人支出
- 30日 日銀金融政策決定会合(~31日)
- 31日 植田日銀総裁会見/日銀「経済・物価情勢の展望」(展望レポート)  
9月失業率・有効求人倍率  
9月商業動態統計、9月鉱工業生産  
10月消費動向調査  
中国10月コンポジットPMI、中国10月製造業PMI、中国10月非製造業PMI  
FOMC(~11月1日)
- 1日 中国10月Caixin製造業PMI  
パウエルFRB議長会見  
米10月ADP雇用統計  
米9月JOLTS求人件数  
米10月ISM製造業景況指数
- 2日 10月マネタリーベース
- 3日 米10月雇用統計  
米10月ISM非製造業景況指数

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。